

西俊輔の「毎日楽しく」

Vo1.9 2006年5月号

以前、西会計事務所のニュースレターでもふれましたが、毎年5月に発表される高額納税者の公示制度（いわゆる長者番付）が今年から廃止されました。去年は投資顧問会社のサラリーマンが全国1位となって話題になりましたが、今年（2005年度分）からは長者番付の発表はありません。

その長者番付で去年までの12年間毎年ベスト10以内にランクインし、1997年分と2003年分の長者番付では全国1位となっている斉藤一人さんという方がいます。「スリムドカン」などの健康食品を販売されている個人事業主の方です（会社ではなく個人事業です！）。個性的な考え方をお持ちの方で、お弟子さん達（と呼んでいる商売をお手伝いしている方達）による一人さんの考え方を紹介した本も数多く出版されています。

その斉藤一人さんがよく言うことに、言葉の力、言霊の作用というものがあります。言葉には波長があって、「ついてるなあ」とか「豊かだなあ」、「ありがたいなあ」といった言葉からは幸せの波長が出ているそうです。だから、内心ではどう思っているにもかかわらず、とにかくこのようないい言葉を口にするのがいいそうです。ふつうは口先だけではダメで気持ちが大事だと考えそうなところですが、でも、幸せじゃないと思っている人に幸せだと思いましょうといっても、実際にはなかなか難しいかもしれません。一人さんによれば、気持ちを先にしようとする時間がかかって人生が終わってしまうそうです。だから大事なのは心で思うよりも口に出して言うことだそうです。そうすることによってそのうち本当に幸せになってくるといいます。反対に幸せでない波長を出す言葉もあるそうです。「ついてないなあ」とか、不平不満、愚痴や泣き言、悪口や文句、心配事などがそうだといえます。こうした言葉を日ごろ口にしてばかりいると、だんだんと運が逃げていくそうです。

確かに不平不満や愚痴を言っているときって、幸せではなさそうですね。私もなるべくいい言葉を話して、悪い言葉は話さないよう気をつけているつもりですが、でも、悪い言葉が出てしまうときもあります。みなさんはどちらの言葉を話す機会が多いですか？

